

平成 17 年 3 月 10 日

文部科学省初等中等教育局長 殿

団体名 尾道市情報教育研究会

所在地 尾道市美ノ郷町本郷 604 番地

代表者職氏名 尾道市立木頃小学校校長

今岡 史士 印

平成 16 年 6 月 16 日付け 16 文科初第 675 号で委託を受けました平成 16 年度教育情報共有化促進モデル事業が終了しましたので、次のとおり報告します。

事業実績報告書

- 1 研究を行った学校種 小学校 教科 理科
- 2 研究内容

(研究内容)

環境問題がクローズアップされ、小学校理科においても、環境に関連した、観察、実験が多く取り上げられている。そこで、尾道市を流れる藤井川の環境問題に直接・間接に取り組んでいる諸団体と協力し、理科の観察、実験や「総合的な学習の時間」の学習において、河川をめぐる環境、動物、土地について児童が興味・関心を持ち、学習内容を深める上で有効な IT を活用したマルチメディア教材の開発をする。

教材の開発は、尾道市を流れる藤井川を巡る内容を中心に開発を行うが、広範な地域の学校で活用できる内容とする。また、教材は小学生にとって有効なものとなるように、内容や文章に配慮し開発にあたる。

- ・河川の環境問題に児童が主体的に興味・関心を持って取り組める教材の開発
- ・児童が自ら調査結果を分析できる教材の開発
- ・教科（理科）の内容に則した教材の授業における有効利用について

(研究成果)

- ・水生生物、岩石、鳥についてデジタル図鑑として公開することができた。小学校だけではなく、中・高等学校でも利用可能な内容となった。
- ・尾道市及び近隣で、多くの分野で活躍されている方々とともに協力し研究を推進することができた。外部講師、地域人材との協力体制の確立ができた。
- ・参加メンバーに多様な情報技術の向上が望めたこと。今後も教職員の IT 技術の向上をめざし、相互連携をしていく。

(研究成果物)

- ・デジタル図鑑（水生生物、岩石、鳥）及び児童のための観察の手引き
- ・開発教材を活用した、授業実践事例
- ・上記内容を掲載する Web ページ『【尾道市情報教育研究会】デジタル図鑑』

アドレス <http://www.onomichi.ne.jp/~eco/>

3 研究成果の評価

成果

- ・ 3つの内容をデジタル図鑑（水生生物，岩石，鳥）として公開することができた。小学校の授業だけでなく，中・高等学校でも利用可能な内容が整いつつある。
- ・ 尾道市及び近隣で，多くの分野で活躍されている方々とともに研究を推進することができた。このネットワークは，今後コンテンツ開発が終了しても継続できるものである。
- ・ 参加メンバーがそれぞれ継続的に本事業に参加することにより，多様な情報技術が向上した。

課題

- ・ 採集できていない水生生物データがまだいくつかある。今後，指標生物，野鳥などの情報量を増やし，広域な地域で活用できるよう完成度を高めていく必要がある。
- ・ 微小生物の撮影装置を作成し，より鮮明で正確な画像を提供していくこと，デジタル図鑑の特性である動画の充実を進めていく必要がある。
- ・ 実際の授業での活用場面がまだ十分ではないので，今後より多くの実践を積み重ね，実践事例を本ページに掲載していく必要がある。

4 1年間の研究スケジュール

4月	・ 研究内容の確認と実施計画の作成
5月	・ 理科教科書に掲載されている観察及び実験の分析と開発内容の決定
	・ 役割分担決定，年間計画の立案
6月	・ キックスタート会議への資料の作成
	・ キックスタート会議での助言を受けて計画の調整
7・8月 (夏季休業)	・ 教材開発における資料の収集
	・ 教材仕様の決定、教材公開のためのWebページ作成開始
	・ 分担に従い，情報の収集と計画の作成
	・ 野鳥の情報収集と図鑑作成開始
	・ 水生生物の情報収集と図鑑作成開始
	・ 理科との関連の調査研究
9月	・ 岩石の情報収集と図鑑作成開始
	・ 教材を利用した授業実践（水生生物）
10月	・ 教材を利用した授業実践（岩石）
11月	・ Webの見直しと教材の修正と検証
12月	・ 教材を利用した授業実践（岩石）
1月	・ 成果発表会へ向けての資料の作成
2月	・ 研究のまとめと開発教材公開のためのWebページの完成
3月	・ 研究報告書の作成，Webページの最終調整

5 成果物が蓄積されている場所（所在地・電話番号）

（名称） 尾道市立木頃小学校

（所在地・電話番号） 〒722-0212 広島県尾道市美ノ郷町本郷604番地 0848-48-0039

6 文部科学省との連絡担当者（省略）